

事業実績書

団体名	陶連合自治会
-----	--------

1 総括

「やまぐち式協働のまちづくり」により、交付金の増額や土木工事などがあったが、これまでの事業を見直し、継続することにより、計画した事業をほぼ実施することができた

2 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	3,163,599円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長：1名 事務員：2名(今年度1名増員) (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 業務量が増えたが、努力して滞りなく事務局運営を行うことができた。 (今後に向けて) 増加する業務量に対しては、今後は勤務日数を増やして対処する。

(2) 地域振興

事業名	陶づくりセミナー
事業費	76,743円
事業概要	(実施内容) 県立大学・地域づくりアドバイザーの協力を得て、セミナーを開催した。 (実施時期) 平成24年1月、3月 (参加人数) 60人 (成果) 将来の陶づくりについて学習し、多くの貴重な意見が得られた。 (評価) 参加者の意見を今後の地域づくり計画に反映させることができる。 (今後に向けて) 今後も毎年セミナーを計画実施したい。

事業名	広報活動
事業費	496,080円
事業概要	(実施内容)①広報誌(陶連合自治会だより・陶連合自治会報)を発行し、配布した。 ②携帯サイトの内容を充実させ、定期的に更新する一方、会員増に努力した。 (実施時期) 平成23年4月～24年3月 (参加人数) 50人 (成果) だよりを3回、会報を14回発行し、自治会活動や地域の情報を知らせることができた。 (評価) 広報活動は充分と思われるが、広報誌をよく読まない人もいるようである。 (今後に向けて) 3団体4広報誌を一つにまとめ、読みやすく内容の充実した広報誌を検討す

事業名	ふれあい推進活動
事業費	353,723円
事業概要	<p>(実施内容) 実行委員会を結成して、陶地区民運動会と陶ふれあいまつりを開催した。</p> <p>(実施時期) 平成23年4月、11月</p> <p>(参加人数) 1,590人</p> <p>(成果) 運動会とふれあいまつりは、それぞれ実行委員会方式での実施で、地区民が多く集い活気ある行事が実現できた。</p> <p>(評価) 地区民多数の参加があり、ふれあいづくりは十分図られた。</p> <p>(今後に向けて) 地区民が多く集まる行事が少ないので、他の分野との合同イベントも検討した</p>

事業名	活動グループ育成
事業費	73,286円
事業概要	<p>(実施内容) 地区民の自主的な活動を育成し、今後の地域づくり活動につなげた。</p> <p>(実施時期) パソコン教室は平成23年8月～11月、ふれあい農園は平成23年9月～24年3月</p> <p>(参加人数) 28人</p> <p>(成果) 初心者対象のパソコン教室を6回開催した。ふれあい農園は全員又は班単位の活動を通して、自主活動が図られた。</p> <p>(評価) 教室では基礎を学習し、住所録と年賀状作成が可能になり、次への意欲につなげた。農園クラブについては、自主的に活動運営ができるようになった。</p> <p>(今後に向けて) パソコン教室は次年度も実施予定。農園クラブは追加募集し、畑地も拡大す</p>

(3) 地域福祉

事業名	健康づくり推進
事業費	6,878円
事業概要	<p>(実施内容) ニュースポーツ教室(2回)、ふるさとウォーキング(1回)、保健講座(1回)を実施した</p> <p>(実施時期) 平成23年7月、9月、11月、12月</p> <p>(参加人数) 98人</p> <p>(成果) 健康維持・増進を図るとともに参加者間の交流が図られた。</p> <p>(評価) スポーツ活動で仲間と共に汗を流し、講座で健康の大切さを理解し、ふれあいと健康づくりの輪が広がった。</p> <p>(今後に向けて) 健康づくりの輪を広げ、質の高い健康づくりを実践したい。</p>

事業名	三世代交流推進
事業費	38,335円
事業概要	<p>(実施内容) PTA・子ども会・老人会等との共催で、参観後を利用した「ふれあい広場」を開催し</p> <p>(実施時期) 平成23年6月</p> <p>(参加人数) 230人</p> <p>(成果) 参観日に合わせた行事開催のため、多数の参加と実り多い交流ができた。</p> <p>(評価) PTAに企画させる発想により、参観後で保護者の参加もあり、真の三世代交流となった</p> <p>(今後に向けて) 関係者間でよく協議して、今後もこの事業をぜひ継続実施したい。</p>

事業名	高齢者生きがいづくり推進
事業費	38,178円
事業概要	<p>(実施内容) 陶老人クラブ連合会と共催で学習会(西京老人大学)を開催し、陶食生活改善推進協議会の協力を得て、男性料理教室を開催した。</p> <p>(実施時期) 平成23年8月、10月</p> <p>(参加人数) 78人</p> <p>(成果) 学習会や男性料理教室を通して、高齢者の生活に役立つ情報を提供することが出来</p> <p>(評価) 高齢者が楽しく主体的に参加でき、いきがいにつながる活動であった。</p> <p>(今後に向けて) 内容と活動方法を工夫して、楽しく参加できる事業として継続したい。</p>

(4)安心・安全

事業名	自主防災対策
事業費	218,275円
事業概要	<p>(実施内容) ①防災用品をそろえた保管庫を地区東西に設置し、土のうづくり講習会を開催し ②「地域防災を考える会」のセミナーを6回開催した。</p> <p>(実施期間) 保管庫設置(2箇所):平成23年12月、セミナー:平成23年11月～24年3月(6回)</p> <p>(参加人数) 保管庫設置は業者に委託、土のう講習会20人、セミナー延べ250人</p> <p>(成果) 前年度の中央域と合わせて、一連の防災(洪水)対策が整った。</p> <p>(評価) 洪水などの防災対応が可能となった。</p> <p>(今後に向けて) ハード面は一応整ったので、防災組織の立ち上げに取り組む必要がある。</p>

事業名	子どもの見守り活動
事業費	30,000円
事業概要	<p>(実施内容) 陶っこ協議会(青少協)が主体となり、各種団体が協力して巡回パトロールを実施し</p> <p>(実施回数) 60回(平成23年5月～24年3月)</p> <p>(参加人数) 180人</p> <p>(成果) 異常者の出現阻止及び児童の交通安全指導が実施できた。</p> <p>(評価) 事業目的は達成できたが、パトロール人数が揃わず2回程中止があった。</p> <p>(今後に向けて) より多くの団体の協力を得て活動を継続する。</p>

事業名	反射鏡設置・修復
事業費	73,000円
事業概要	<p>(実施内容) 反射鏡の設置・修繕を行った。</p> <p>(実施箇所) 2箇所</p> <p>(参加人数) 業者に委託</p> <p>(成果) 新設と修復を実施し、見通しの悪いところを改善した。</p> <p>(評価) 改善により交通安全が維持された。</p> <p>(今後に向けて) まだ危険箇所があり希望もあるので、順次計画的に整備していく。</p>

事業名	子育てネットワークづくり
事業費	80,000円
事業概要	(実施内容) ①放課後の学童保育グループの支援と②未就園児子育てグループの支援をした。 (実施時期) 23年4月～24年3月 (参加人数) ①延べ41人、②延べ64人 (成果) ①12回で延17人の児童を保育した。②15回の活動を実施した。 (評価) 不定期の保育希望と保育人数が少ないことで苦慮している。 (今後に向けて) 学童保育グループについては、保護者への説明を重ねて利用者の増加を図る。

事業名	交通安全啓発
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 地区内に「交通マナーアップ in SUE」の幟を立て、交通事故防止に努めた。 (実施時期) 平成23年4月(24日)、9月(10日) (参加人数) 42人 (成果) 交通安全の意識が高まり、交通安全が図られた。 (評価) 5月の「春の交通安全運動」とは別に、地区独自で新学期に実施して良かった。 (今後に向けて) 今年度実施できなかったポスターや標語を募集して、新たな啓発に取り組む。

事業名	防災マップ
事業費	101,080円
事業概要	(実施内容) 陶地区の防災マップを作成して、各戸に配布した。 (実施時期) 平成23年4月～24年3月 (参加人数) 60人 (成果) 陶地区16集落からの情報収集及びマップ作成用の詳細な地図ソフトが確保できた。 (評価) 防災マップができたことにより、災害時の対応が容易になった。 (今後に向けて) 今後は防災組織を立ち上げるとともに、防災訓練などにもマップを活用する。

(5)環境づくり

事業名	土木工事①(法定外公共物)
事業費	336,000円
事業概要	(実施内容) 里道の舗装工事等を実施した。 (実施箇所) 1箇所 (参加人数) 業者に委託 (成果) 里道を通行しやすくし、維持管理がしやすくなった。 (評価) 緊急箇所や緊急部分のみの実施で、要望の残りは実現出来なかった。 (今後に向けて) 残りの要望箇所を調査し、実施の順位を付けて実現していく。

事業名	土木工事②(単市土地改良)
事業費	3, 219, 000円
事業概要	(実施内容) 農業用水路や農道の改良工事を実施した。 (実施箇所) 4箇所 (参加人数) 業者に委託 (成果) 改良工事を4箇所実施出来た。 (評価) 要望が多く、緊急箇所や緊急部分のみの実施で、残りは実現出来なかった。 (今後に向けて) 残りの要望箇所を調査し、実施の順位を付けて実現していく。

事業名	法定外公共物補修原材料
事業費	19, 719円
事業概要	(実施内容) 補修用の原材料を支給し、受益者が水路や里道等の補修を行った。 (実施箇所) 3箇所 (参加人数) 30人 (成果) 里道の補修作業を実施した。 (評価) 今まで通行上支障があったが、改善されて関係者に喜ばれた。 (今後に向けて) 日常より里道の維持管理を促していく。

事業名	道路環境美化①(市道)
事業費	501, 414円
事業概要	(実施内容) 集落単位で市道の環境美化活動を実施した。 (実施回数) 各集落2回 (参加人数) 13集落 (成果) 大部分は従来からも自主的に実施されていたが、より一層環境美化が図られた。 (評価) 実施要領を簡明にしたので、参加集落が倍増した。 (今後に向けて) 未実施集落もあるので、全集落の参加を呼びかけていく。

事業名	道路環境美化②(国道・県道)
事業費	179, 678円
事業概要	(実施内容) 地区全体で、国道・県道周辺や通学路の環境美化活動を実施した。 (実施回数) 4回(平成23年6月、7月、8月、24年2月) (参加人数) 557人 (成果) 実施区域の環境美化は言うまでもなく、回収ゴミの分別講習会も実施した。 (評価) 参加者は年々増加し、小・中学生から高齢者まで幅広い世代間交流の成果もあった。 (今後に向けて) 参加者の増加と作業効率も上がったので、活動区域の拡大を検討する。

(6) 地域個性創出

事業名	ふるさと再発見
事業費	199,465円
事業概要	(実施内容) 市民団体(山口アートネットワーク)や市文化財保護課と協働でイベント(古い着物を甦ら 表装・書展、須恵器展、お地藏さまスタンプラリー等)を開催した。 (実施回数) 1回(平成23年6月:3日間) (参加人数) 600人 (成果) 合同開催により多彩な催しができ、県外を含む地区外の来訪者にも陶のPRが出来た。 (評価) 共催によって、市民団体からイベント開催の色々なノウハウを学ぶことが出来た。 (今後に向けて) 計画内容の広報を強化し、参加者数を増やしていく。

事業名	地元文化育成
事業費	110,000円
事業概要	(実施内容) 地元のメンバーを中心に活動中の音楽愛好家の演奏会(music陶来楽夢)を開催し (実施回数) 1回(平成23年11月) (参加人数) 170人 (成果) この度は、陶ふれあいまつりとリンクし、前夜祭としての演奏会で大いに盛り上がった。 (評価) 地区内での発表会に、若者グループも聴衆者も大変感激し、今後の継続を希望した。 (今後に向けて) 今後も定例的に開催すると共に、発表ジャンルの拡大も検討したい。

事業名	ふるさと大学事業
事業費	68,074円
事業概要	(実施内容) 地元の歴史についての講座(陶ふるさと大学)を開講した。 (実施回数) 3回(平成23年6月、9月、10月) (参加人数) 82人 (成果) 陶にゆかりの歴史人物や場所の研修で、歴史を学ぶと共に郷土愛を育んだ。 (評価) 郷土にゆかりの文化教養は身に着いたが、期待より参加人数が少なかった。 (今後に向けて) 内容を充実させ、講座の内容をもっと広報して参加者の増加を図る。

事業名	文化財保護活動事業
事業費	10,329円
事業概要	(実施内容) 国指定史跡の陶陶窯跡周辺の環境美化活動を実施した。 (実施回数) 1回(平成24年3月) (参加人数) 15人 (成果) 地元のシンボルである文化財を保護し、将来に受け継ぐ意識が芽生えた。 (評価) しばらく途絶えていた文化財保護の大切さが地区民に意識されて良かった。 (今後に向けて) 定期的に活動を継続し、地区民のみならず、地区外者にも史跡を宣伝する